

研究協力をお願い

昭和大学薬学部薬剤疫学部門では、国立病院機構と共同で下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高齢者への救急医療における医療資源の適正配分を考慮した意思決定支援

1. 研究の対象および研究対象期間

本研究は、2016年4月～2024年3月の間に、独立行政法人国立病院機構に所属する施設の病院に入院された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

現在、高齢の患者さんに対する救急医療の中には、重篤な感染症などの際の集中治療室の利用など、リスクベネフィットを考慮した上でどこまで治療を続けることが適切なかが明確に示されていないものがあり、不適切な医療によって患者さんやその家族に負担が生じている可能性がございます。そこで私たちの研究では、18歳以上の成人の方を対象に、65歳以上の方とそれより若い方の間で、集中治療室の利用などによって予後や入院費用等に、どのような違いが生じ得るか大規模診療情報データを用いて検証し、高齢者への救急医療における意思決定支援を目指していきます。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、主として国立病院機構が保有する入院前後も含めた以下のデータを利用させていただきます。

- ・患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、病名、過去の病歴、入退院時の身体の自立度
- ・治療状況：薬や処置の種類および費用、看護の必要度、体温、血圧、検査値データ、食事内容
- ・その他：病院の病床数、医師等の職員数

本研究は、日常診療から集積された既存の診療情報を二次的に利用するものであり、患者さんに新たな負担が生じることはありません。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で利用させて頂く個人情報等は、もともと情報が保管されている国立病院機構本部内で厳重に管理・保護いたします。データ解析を行う際は国立病院機構本部内で特定の個人を識別することができない状態に加工した上で、国立病院機構本部あるいは昭和大学薬学部内で解析を行います。プライバシー

に係る個人情報外部に漏洩することは一切ございません。なお、本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがあります。が、集団を記述した数値データとし、患者さん個人が同定されるデータを公表することは一切ございません。

6. 研究組織

昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 薬剤疫学部門

教授 今井 志乃ぶ（研究代表者）

助教 谷 拓朗

講師 池谷 怜

共同研究者

国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部

研究員 橋本 悠生（研究責任者）

主任研究員 井上 紀彦

研究員 山名 隼人

国立病院機構本部総合研究センター情報システム統括部データベース企画課 システム専門調整職

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療政策情報学分野 大学院生

小泉 聖人

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：独立行政法人国立病院機構本部 総合研究センター 診療情報分析部

住所：〒152-8621 東京都目黒区東が丘 2-5-21

電話番号：03-5712-5133